

学びサプリア活用ツール【使用説明書】

学びサプリア解答状況を活用支援するツールです。

【ファイル名】 学びサプリアツール.zip

※ 圧縮フォルダ内に8個のファイルが格納されています。使用の際には、解凍作業が必要です。

【動作環境】 Microsoft Excel 2003または2007が動作する環境。(Microsoft Excel 2003 で開発を行っています。)

【重要】 分析ツールはマクロを含んでいます。使用する際は、マクロセキュリティの設定が必要です。

【重要】 Microsoft Excel 2007では、コンピュータの環境によって、集計処理の途中でエラーが発生することがあります。

【配付者】 和歌山県教育委員会 (和歌山県教育センター学びの丘)

【配付開始日】 平成23年4月26日

【利用に際しての注意事項】

- ・ 無断複製及び再配布を禁止します。
- ・ このツールの著作権は和歌山県教育委員会に帰属します。

1 入力の方法に合わせて選択しましょう。

調査結果をどのように入力するかによって、解答タイプを選択します。

児童生徒の各解答について、解答タイプを判別して、その番号を入力します。

解答タイプ入力 (1)

を選択して下さい。

児童生徒の各解答について、解答タイプの入力
は行わず、正答・誤答・無解答の3分類のみ
の入力を行います。

解答タイプなし (0)

を選択して下さい。

2 入力・集計ファイルを準備しましょう。

ファイルには、入力及び集計に必要なツールを圧縮フォルダとしてまとめています。

書き込み可能なディスクに、圧縮フォルダの中にあるフォルダをコピーするなどして、解凍します。

フォルダ内には、以下の8個のファイルが含まれています。

- ・ メニュー (小) .xls . . . ファイル操作を支援するメニュー画面
- ・ 解答・回答結果.xls . . . 設問別に解答の分布をグラフ表示
- ・ 個表作成.xls . . . 個表作成マクロを含んだファイル
- ・ 組(0).xls . . . 学級別調査結果 (解答タイプなし) を集計するシートを含んだファイル
- ・ 組(1).xls . . . 学級別調査結果 (解答タイプあり) を集計するシートを含んだファイル
- ・ 組入力(0).xls . . . 学級別調査結果 (解答タイプなし) を入力するシートを含んだファイル
- ・ 組入力(1).xls . . . 学級別調査結果 (解答タイプあり) を入力するシートを含んだファイル
- ・ 分析ツール.xls . . . S P分析表を作成するマクロを含んだファイル

【重要】 これらのファイルは必ず同じフォルダ内に置いてください。

3 初期設定を入力します。

(1) メニュー.xls ファイルを開くと、初期設定画面になります。調査クラス数・解答類型を入力し、作成ボタンをクリックすると、各クラス入力シートを作成されます。

(2) シートに、学年、学級番号 (1~8)、児童番号を入力します。

※ 学年、学級番号は、全ての児童について入力してください。

(3) 全ての入力が終わったら、ファイル名を変更せず、上書き保存してください。

算数B

② 児童番号は他学級の児童と重複しないようにします。

学年	組	番号	1 111	1 121	1 131	2 111	2 121	1
6	1	1001	1	1	1	2	0	
6	1	1002	1	4	1	1	1	
6	1	1003						
6	1	1004		1	1	1	1	
6	1	1005		1	1	4	1	

③ 空欄のままにでも処理をおこないます。

(4) 各クラス入力シートに各生徒の結果データを入力・保存ができれば、次に変換ボタンをクリックし、集計処理ボタンをクリックしてください。

【入力にあたっての注意事項】

- ①入力シートへの入力について 数字のみを入力してください。 数字以外の文字を入力すると、後の集計処理を行うときにエラーメッセージが出ます。
- ②児童番号について 児童番号は学校独自に設定することができますが、複数学級がある場合には、他の学級の児童と同じ番号にならないようにしてください。 例えば、1組出席番号1番の場合は「101」、2組出席番号13番の場合は「213」など、学級番号と出席番号を組み合わせるなどして児童固有の番号を設定してください。

★解答類型なしの場合は、**正答=1、誤答=9、無解答=0**として、入力してください。

4 いろいろな集計表を自動作成しましょう。

(1) 集計処理ボタンをクリックすると、各種の集計表やグラフを自動作成します。処理が終了すると、右図のメニューが表示されます。目的のファイルを選択して閲覧及び印刷することができます。



集計処理で、次のファイルが自動作成されます。

集計データ.xls

設問別調査結果.xls

設問別（解答類型）調査結果.xls・・・ **解答類型なしの場合には作成されません。**

正答率・無解答率グラフ.xls

Q&A こんな時には・・・

全ての学級のデータが処理されていません。

1組～8組の入力ファイルのうち、1組から順にデータが入力されているか確認してください。集計処理では、1組から順に処理を行い、データが入っていないファイルを見つけると、それ以降の学級の処理を行わない仕組みになっています。

「ファイルが見つかりません」と表示されます。

メニュー.xlsは、必ず各組ファイルと同じフォルダにおいて実行してください。

集計処理でエラーが発生し、途中でストップしてしまいます。

Excel2007を使用している場合、ファイルを自動保存する部分等でエラーが発生することがあります。特に、ウィルス等の侵入を防ぐセキュリティソフトをお使いの場合に、エラーが発生することが多いようです。数回繰り返してもエラーが発生する場合には、Excel2003でご利用ください。

5 個票を作成しましょう。

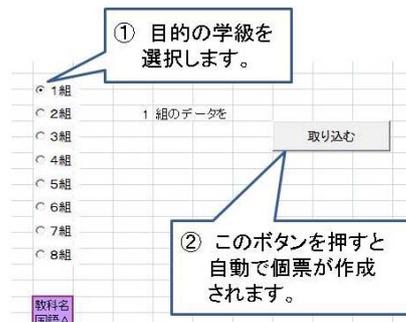
【重要】 個票を作成する前に、必ず集計処理を行う必要があります。

- ※ 集計処理で自動作成されたファイルを使用して個票を作成します。
これらのファイルをコンピュータ内の他のフォルダなどに移動させると、正しく作業を行えません。
- ※ このツールでは、学校の平均正答率と児童の正答状況を比較する個票を作成できます。

- (1) 「個票作成」のボタンをクリックします。
※ または、個票作成.xls を直接開きます。



- (2) 個票を作成したい学級を選択し、「取り込み」ボタンを押します。これで、「個票作成(1組)」というファイルが自動作成されます。



- (3) 続いて他の学級の個票を作成する場合は、「TOP」というシートに戻り、(2)の操作を繰り返してください。
- (4) 個票作成を終了するときには、ファイルを上書き保存する必要はありません。

問題番号	問題の内容	正答率	問題形式	結果	学校の正答率
-111	漢字を読む(形は間違っている)	4	選択	×	72.5
-112	漢字を読む(音から漢字を推定する)	5	選択	○	68.8
-113	漢字を読む(音から漢字を推定する)	6	選択	○	70.8
-114	漢字を読む(音から漢字を推定する)	6	選択	○	75.0
-115	漢字を読む(音から漢字を推定する)	4	選択	○	75.0
1	はがきの表書きに必要な事項を	3	選択	○	77.5
2	はがきの表書きに必要な事項を	3	選択	○	62.5
3	はがきの表書きに必要な事項を	3	選択	○	70.0
4	はがきの表書きに必要な事項を	3	選択	○	65.0
5	はがきの表書きに必要な事項を	5	選択	×	10.0

※ 続けて他の学級の個票を作成する場合は、「TOP」シートにもどります。

6 個票の印刷

- ・ 個票は教科ごとに、1名につきA4用紙1枚で印刷できます。
- ・ 個票は1枚ずつ、または学級の児童全員分を一括して印刷することができます。
- ・ 個票には、児童番号のみが印刷されます。児童の氏名は入りません。

うまくいかない時には・・・

まず、次の項目を確認してみましょう。

□ 配付した圧縮フォルダの解凍作業を行いましたか？

配付したファイルは圧縮フォルダですから、このままでは使用できません。この中に5個のファイルが格納されています。使用の際には、解凍作業が必要です。

□ マクロを使用できるように、Excel が設定されていますか？

このツール及びこのツールで自動作成されるファイルの一部はマクロを含んでいます。使用する際は、マクロセキュリティの設定が必要です。

設定方法は Excel2003 と Excel2007 では異なります。具体的な設定方法については、使用している Excel のヘルプやマニュアルを御覧ください。以下の資料も参照できます。

【Excel2003 での設定方法】

http://www.wakayama-edc.big-u.jp/zenkoku/h20z_SP_Macro_es.pdf

□ ネットワーク上にあるドライブで処理を行おうとしていませんか？

学校等で構築したネットワーク内にある共有フォルダでは、マクロが正常に動作しないことがあります。コンピュータのデスクトップ等、ハードディスクにコピーしてお使いください。

説明は以上です。